

第5回池田町義務教育のあり方検討委員会 会議録（概要）

日 時	令和7年6月26日（水） 午後6時～午後7時30分
場 所	池田町役場2階 大会議室
出席委員	委員長 池田園小運営協議会代表 梅牧 力 副委員長 高瀬中運営協議会代表 宮本 和紀 会染園小運営協議会代表 櫻井 康人 池田小学校 PTA 代表 皆川 瑞穂、会染小学校 PTA 代表 栗林 絵美 高瀬中学校 PTA 代表 藤井 周二 池田保育園保護者代表 貝梅 直輝 自治会協議会会長 常盤井 智美、自治会協議会副会長 中山 廣忠 池田小学校長 工藤 美恵、会染小学校長 池内 博 高瀬中学校長 原 毅 識見を有する者 村瀬 公胤、丸山 史子 公募による者 佐藤 豊、平林 利香子、丸山 尚子 池田町社会福祉協議会会長 中嶋 一光
欠席委員	識見を有する者 下川 威
事 務 局	教育長 山崎 晃、学校保育課長 井口 博貴 学校保育課学校保育係長 高木 さおり 学校保育課学校保育係 丸山 智史
書 記	学校保育課学校保育係長
傍 聴	6人

1 開会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 協議

(1) 保護者・児童生徒・職員アンケート結果について

アンケート結果について宮本副委員長より説明

(2) 今後の小学校・中学校のあり方について

(梅牧委員長)

今後の小学校中学校のあり方について、櫻井委員から順番に意見を述べてもらいたい。

(櫻井委員)

現状通りでいいと思っている。理由は、コーディネーターという立場から授業や行事に参加している際に、何をやるにも非常に活発で、自主的に動いてるからである。色々な方から意見を聞いたが、少人数で困ったことはないとも私もその意見に賛同しており、少人数になった時に何故統合しないといけないのかと思います。保育園については会染保育園と池田保育園が統合したことが非常に疑問を感じた。今の会染小学校、池田小学校ともに、適切な人数構成だと考えている。

(栗林委員)

現状通りがいいと思っている。これから少子化になると、クラス再編を考えないといけなくなり、現状より人数を減らすとなると寂しいと感じている。

(藤井委員)

小学校は統合で良いと思っている。会染小学校と池田小学校の特色もあると思うが、少子化が進み子どもが減っていくので、小学校を1つにして運営した方が良いと思っている。

(貝梅委員)

統合でも構わないと思っている。私の娘が現在、保育園の年長で今年から会染保育園と池田保育園が統合したため友達が増えた。小学校で友達と別れる話をすると、非常に悲しいと言っていたので、大人が色々言うよりも子供の意見を優先するべきと思っている。

(常盤井委員)

少人数学級の有効性もあると思っている。しかし、今後の少子化で池田町の存続を考えると一長一短あるが、その短の部分は何らかの政策で補う方向で統合もやむなしと思っている。

(中山委員)

町全体で考えた時に、統合が良いと思っている。小学校の運動会を参観している時に100m走が1学年5分で終わり、各競技が早く終わる状況が続いていたので、運動会の後日に会染小学校と一緒にやってほしいと提言した。また、統合してクラスの人数が増えれば切磋琢磨して、子どもたちが動きやすいと感じたからである。

(村瀬委員)

私は統合してもあるいは現状のままでも問題はないと思っている。小規模の学校を心配している方の意見もよく分かるが、一般的に言われる規模が小さすぎる学校の弊害は統合しても既存のままでも弊害はないので、統合でも現状でも問題ないと思っている。保護者にしても子供にしても友達は多い方がいいと言っているが、保護者の多くが現状ならば現状、多ければ多い、少なければ少ないということでそれぞれに応じた教育があると思っている。地域の方々の気持ちを考えると現状のままだと良いと考えている。また、別案としてそれぞれ義務教育学校を設けるというのも選択肢として考えている。

(池内委員)

これまでの議論や経緯、アンケートを踏まえ学校にいる者として学校の職員の視点から考えると職員の数が多い選択肢が良いのかなと思っている。会染小学校に来て思ったことは単級で1クラスあたりの子供の数がとても多い学級がいくつもある。その中で先生たちは学級について不平不満を言うことはなく、一番大事である子どもが真ん中ということ意識して、子どもと向き合うことに全力を傾けていると感じた。学校は授業作り以外で事務仕事などの校務の仕事も対応するので、一人あたりの仕事の負担を考えると、職員の人数が多い方がいいのかなと思っている。

(原委員) 中学校にいる者としての回答になるが、私は現状で良いと思っている。私も小規模の中学校で勤務した経験があり、前の学校は全校生徒が16名程度だった。少人数でも子供たちと向き合い、職員や子供たちも楽しめる学校というのは、工夫次第によって経営が出来ると感じている。3クラスで先生7人がなんとかやりくり出来る人数で、2クラスだと先生が半分の4人になってしまうので運営が難しい。義務教育学校の案を考えた場合、複数免許を持っている方の採用も良い策と思っている。今少子化の傾向で、現在より更に児童生徒の人数が減少するのであれば、義務教育学校にするのも一つの手段と考えている。

(工藤委員)

私は小学校が一つになっても良いと思っている。これだけ変化の激しい令和の時代を生き

ていくために必要なことは、子供たちが集団の中で自分自身のあり方や行動について選択し自己決定する力が大事だと考えている。私も前任校が全校生徒 50 人と小規模の学校に勤務していた。小規模の学校で過ごした生徒が全校生徒の倍以上の人数が居る高校に行くと、不適応を起こす割合が多いと教わり私自身そう感じた。大人側から見た少人数の学校の良さは、グループ学習など工夫次第で実施しやすいことだと思っている。ただ、子供側から見た大人数での良さは友達が沢山出来て仲良くなれることや仲良くない生徒がいても距離がとれるところだと思っており、少人数の学校では難しいと考えている。ゆくゆくは私立とまで言わないが池田町だけでなく、松川村や安曇野市と協力し特徴的な学校を一つ作ることが出来れば住民も増え色々と作ることが出来るのではないかと考えている。

(丸山史子委員)

私は、池田小と会染小が存続した方が良いと考える。前の委員会の時も話したが、学校規模の大小は目に見えて分かり、エネルギーも大きな学校は大きく小人数の学校は 1 人 1 人の子供のエネルギーを大きくすれば、大きな学校に引けを取らないエネルギーを発揮することを経験した。したがって、この時期どうしても 1 校にするのか、2 校にするのかという形で、すぐに決めないといけないのか危惧している。希望としては、両方の学校の良さを残して先生達が忙しければ、協力出来るところは地域全体で力を借り、補うことで存続出来ればありがたいと思っている。

(佐藤委員)

先生の観点からの意見になるが、統合もやむを得ないかなと思っている。先日中学校を見学したが、非常に科目が増え多様な教え方をしている先生の確保が重要になる。また、池田町の財政的に加配でどれだけ先生を増やせるかを考えた時に、環境変化を考えれば、統合もやむを得なしと思っている。

(平林委員)

統合するしないを決めるのは、この段階ではまだ議論が足りないと思っている。アンケートを確認したが、学校を大きくすることより皆さんが望んでるのは、1 人 1 人の児童に目が行き届き、誰一人置いてきぼりにしない安心安全な環境を理想としていたと感じた。先生の意見でも、半分以上の先生が現在より 1 学級当たりの児童生徒数が少ない方が適当であるという回答が多かったので、人数どうこうという形ではなくて質を考える方向に議論を進めていくべきだと思っている。

(丸山尚子委員)

今はまだ材料が少なく、決断出来ないのが現状のままで良いと感じている。義務教育学校や統合再編など色々あるが、現場を見てみないと何とも言えないと思っている。また、アンケートを確認した中で子供、保護者、先生も、学年は複数クラスを望んでいることが判明した。子どもは沢山のひとと接する機会を求めているということで、それイコール合併を望んでいるというのは安易な考え方かなと思っている。また、会染小学校がこのまま人数が減ると決めつけるのも早いと思っていて、これから 2 年くらい旧会染保育園再生の民間保育園業者が入って、どのように変化していくのかを見ていかないと分からないということも含めて現状のままで良いと思っている。

(中嶋委員)

社協という立場からの意見になるが、子供が増えることは現状の統計でいくと難しいと思っている。アンケートの結果について、全体的に言うとは理想的だと解釈し、社会福祉協議会として池田町の出生率数のデータを毎年取っているが減少傾向なので、厳しいと思っている。

(皆川委員)

現状維持だと思っているが、義務教育学校も面白いと通っている友人や先生の話聞いたことがあって魅力は十分にあるなと感じている。工藤委員が話していた統合したあともう1個特色のある学校を私立で作るという案も、むしろその方が現実的かもしれないし、野外保育に通園した子たちは、学校に溶け込むのに時間がかかるということも経験しているので、私立が難しくても公立学校でイエナプランを採用しながらやっているようなケースがあるので、検討してみても良いのかなと思っている。また、問題に取り組んでほしいとずっと言っているが、反映されないまま、この議論を進めるのは逆に現実味がない。松川村と統合なんて話も出てきているが、それで良いのかを皆で考えながら進めないといけないと思っている。なので、基本現状維持で、公立学校でもう1個魅力のある学校を作ることや、両方ともが魅力ある学校にしなければいけないと思っているので義務教育学校も悪くはないと思っている。

(宮本副委員長)

今までの出ている資料で人口減少というところから考えると、それなりの規模の学校が良いのかなと思うが、まだ結論は出せてないので保留にしたいと思っている。民間保育園の問題で、やはり人口の問題というのが一番大きいとされていて、その中で議論するのはちょっと難しい部分もあるが、ある程度の方向性は出さないといけないというところも踏まえて、できれば専門部を作って、専門的にわかる方で少し議論を重ねて結論が導かれると良いと考えている。

(梅牧委員長)

私も現状維持を考えている。少人数でもクラスを維持することは出来ていると思っており、今後の教員数が不足することも考えられる。ある県では、教員が満遍に配置出来ない学校があることから、教員不足はもう深刻になっている。統合して現状の教員数より増加し教員が配置出来ないということも考えられ、子ども一人一人見ることが出来る環境を維持するためにも現状のままで良いと思っている。

(櫻井委員)

学校は地域の宝だという話を聞いた。この宝がなくなった時に地域の人は空虚な気持ちであって、池田町は何をやっているんだというようなところまで発展するような気がしている。地域の人が学校をどう考えるかこれも非常に大事な問題だと私は思っている。

(丸山尚子委員)

児童数に応じた予算やシステムを軸にして考えるのか、池田町の子どもはこんな人間に育てたいというビジョン軸なのかの方針をどうするのか。それとも池田町の子供はこのように育てたいんだという二つの軸があると思っている。その軸をここでただ広げてしまうと、收拾がつかなくなってしまうと思っている。

(梅牧委員長)

町民がどう考えるのか、町民の意識抜きで議論を進めるわけにはいかないと思っている。回数としては2回しかないなので、事務局と予算の関係で検討するがなかなか難しい状況もある。委員全員からそれぞれ意見が出てきたので、答申としてどういうものを出すか議論は深まってきたと思っている。

(皆川委員)

財政面の話で町としては、そこに比重を置いてないということだが、それはそれで素晴らしいことだと思いつつも、例えば1校を維持するのに大体年間3000万ぐらい掛かるとして、単純に言って統合するとどのぐらいの削減になるのか、人数は減ったとして、今後増えてくるかもしれないということも含んで想定しながら、ある程度の数字を出して話すことも大事

なのかなとは思っていて、理念的な部分と金銭的な部分は提示しながら話をした方が良いと思っている。あと、色々な地域の実績として、新しい形の学校も作ってこれだけ移住者が来たという材料も含めつつ議論したらいいかもしれない。

(梅牧委員長)

現状維持というか良さを残していく考え方と統合していくという大きく考え方があり、分かりにくいのでまとめると、義務教育学校という場合には中学まで含めて検討する。小学校を一つとして再編という場合には、新たな小学校を建物は別として作るという考えが再編になるので、義務教育学校で考えていくのか、再編にしていくのか、現状維持なのか、これで簡単にどちらの方向とは言えないので議論を重ねたいと思っている。

(常盤井委員)

これからもまだ議論すると思うが、会染保育園の場合は存続すると言った次の年に、合併と話が出てそれはないだろうって言ったら、結局合併され非常に結論が早いと感じた。色々取り組んで結論を出す時も、5年ぐらいのことを考えながら動いてほしいと思っている。

(丸山尚子委員)

答申の判断のことになるが、答申を判断するという人たちがどれだけ見識を持ち寄って判断するのか心配していて、教育長と教育委員の方と一緒に検討してくと思うが責任の所在はどこにあるのかなと心配になった。

(山崎教育長)

最終的な結論は、教育委員会が責任を持つということで、委員全体でやってきたことを受けた上で検討する。

6 連絡 第6回検討委員会は9月4日(木)18時より池田町役場大会議室で開催する。

第7回検討委員会は11月26日(水)18時より池田町役場大会議室で開催する。

*必要に応じて臨時で委員会を設ける場合がある。

7 閉会